

地域とともにある学校

魅力ある学校づくりを目指して

<校訓>

樹の如く伸びよ 星の如く輝け

<学校教育目標>

自律する人間 共創する人間 錬磨する人間

2020/09/7 (月) 発行

校長通信 NO 5

北海道日高高等学校
谷 尊 仁

「個性」と「多様性」

先日、「第 64 回北海道高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会 日勝地区予選会」が本校を当番校として実施されました。

今年度は、帯広柏葉高校と日高高校の 2 校 7 名の生徒が、自分たちの思いを発表しました。

そこで発表した生徒達の抱える思いやこれからの自分の生活にかける思いを拝聴させてもらいました。

それぞれの経験や思い、その時の感情、これからの決意など感慨深いものでした。歴任してきた学校で生活体験発表大会の発表を聞いたのは、今回で 3 校 6 回目となります。

定時制通信制に通う生徒だけが、特別な経験をして、そのことについて辛い思いを持っているとは思いません。全ての人間が日々多くの課題を抱え、悩みながら生活していると思います。

特に今年のような、コロナ禍での生活は、今までに経験したことのない状況であり、一人ひとりがこの状況を乗り越えるために、どのように生活していくかがポイントになっています。

人間は、一人ひとりが違った考えを持ち、違った行動様式を持っています。それが「個人の特性」であり「個性」だと思います。「自分と他人は違って当たり前」であり、「自分と違う」からと否定するのではなく、「他人と違う」または「自分と違う」ものこそ、大切だと思うのです。

色々な「個性」を持った人たちが存在することを「多様性」と言います。それは性別であったり、年齢などといった属性に関わるものであったり、価値観や行動といった思考に関わるものであったりします。

その「違い」を参考に、物事を多面的に捉えて考え、新たな発想へ結びつけることで、色々な可能性が見えてくるのではないのでしょうか。

「人は人、自分は自分」と利己的な発想ではなく、自分を大事にしながらか多くの人を尊重し、その意見を参考に物事を考えて行動する。そこには「試行錯誤」を繰り返しながら最善を求めて思考と行動を続けていくことが大切ではないかと思えます。

知らないうちに、拡めちゃうから。

STOP!
感染拡大
— COVID-19 —

第 64 回北海道高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会 日勝地区予選会

8 月 28 日 (金) に本校体育館を会場に「第 64 回北海道高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会 日勝地区予選会」が開催されました。

数年前までは、日高・十勝地区で 4 校あった定時制ですが、現在は、帯広柏葉高校と日高高校の 2 校となっていました。

今年度は、2 校 7 名の生徒が、自分の体験や思いを発表しました。(結果は、HP の新聞記事をご覧ください。)

今年度はコロナ禍の状況で、全道大会は、ビデオ審査。全国大会は、作文審査となり、自分の思いを人前で直接伝えることができたのは、地区予選会までとなりました。会場



聞いていた生徒達は、他の人の経験や意見を聞いて、自分の生活に役立てることができた良い機会だったと思います。

「心の健康教室」開催

9 月 2 日 (水) に本校体育館において、1 年生を対象にスクールカウンセラーの土井敦子先生の指導もとで「心の健康教室」が実施されました。

生徒達は、あらかじめ作成していた「エゴグラム」で自分の特性を理解し、ロールプレイングで日々の生活でどのように心のエネルギー

を使っているか理解を深めていきました。

